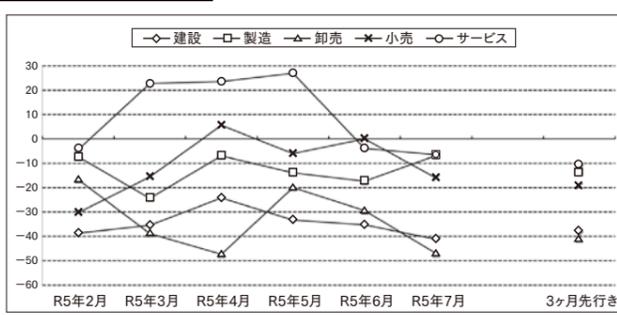


# 魚川おらせばん

## CCI-LOBO 北陸信越産業別業況D1 R5年7月の概要



○青果物は低単価なため、物流コストが末端売価へ与える影響は大きい。量販店・消費者の価格転嫁への理解が進まなければ、卸売等の中間業者が板挟みとなる(農畜産物卸売業)  
 ○インバウンドを含め来店客数は伸びているが、物価高の影響で消費者の購買意欲は低調だ。電気代の高騰によるコスト増の影響も大きい(百貨店)  
 ○コロナの5類移行後から売上は増加傾向にあるが、コスト増加分の価格転嫁が難しい。付加価値のある商品の開発を進め、価格転嫁ができるよう努めたい(飲食店)

## いといがわ 地域経済ミニ情報

項目	単位	2022年		前年	傾向	
		1月~12月	2023年3月			2022年3月
1 市内金融機関預金高	百万円	-	218,808	214,382	102.1	↗
市内金融機関貸金高	百万円	-	68,159	70,716	96.4	↘
2 当所管内から国民生活金融公庫へ普通貸付件数	件	9	0	1	-	↘
同 貸付金額	千円	101,800	0	6,000	-	↘
当所マル経資金申込件数	件	8	1	0	-	↗
同 申込金額	千円	28,420	2,500	0	-	↗
3 市振興・景気/県産育資金申込件数	件	0	0	0	-	-
同 申込金額	千円	0	0	0	-	-
4 糸魚川職安管内 月間有効常求求人数	人	10,275	899	863	104.2	↗
糸魚川職安管内 月間有効常求求職数	人	5,666	566	517	109.5	↗
5 求人倍率	倍	-	1.59	1.67	-	↘
6 糸魚川市 一般家庭 ガス使用量	m <sup>3</sup>	4,896,137	479,073	547,519	87.5	↘
営業・その他	m <sup>3</sup>	3,376,487	265,704	412,495	64.4	↘
7 糸魚川市 一般家庭 上水道使用量	m <sup>3</sup>	3,023,031	244,027	249,156	97.9	↘
営業・その他	m <sup>3</sup>	1,016,471	80,735	78,993	102.2	↗
8 糸魚川市一般住宅建築届出( )は新築分	件	94 (68)	4 (4)	11 (9)	36.4 (44.4)	↘
同店舗併用住宅建築届出	件	3	0	0	-	-
同工場建築工事届出	件	4	0	0	-	-
9 糸魚川市人口	人	-	39,377	40,171	98.0	↘
同世帯数	世帯	-	17,128	17,163	99.8	↘

## 役員・議員交代のお知らせ

所属事業所の人事異動等により、下記のとおり交代になりました。(敬称略)

**1号議員 永井 博士 ⇒ 保倉 孝史** (㈱大光銀行糸魚川支店長) 令和5年7月1日付

**1号議員 堀 直樹 ⇒ 阿部 裕顕** (㈱第四北越銀行糸魚川兼糸魚川中央支店長) 令和5年7月1日付

**2号議員 竹井 操一 ⇒ 大橋 正秀** (東北電力ネットワーク㈱糸魚川電力センター所長) 令和5年7月1日付

商工糸魚川7月号に掲載した、水曜会メンバーの異動の記事で、糸魚川税務署長のお名前に誤りがありました。お詫びして、訂正いたします。正しくは下記の通りです。

糸魚川税務署長 (誤)早川佑二 (正)早川祐二

糸魚川商工会議所 2023年8月25日発行  
 ☎941-8601 新潟県糸魚川市寺町 2-8-16 ☎025-552-1225  
 URL: http://www.itoigawa-cci.or.jp 発行責任者/北村雄一  
 【お願い】会報は事業所内、各部署で閲覧をお願いします。

## 正副会頭会議

7月18日  
 ◎日程調整  
 おうみ祭り糸魚川大花火大会、ヒスイレディ認証式、海上自衛隊艦艇「ひらしま」入港歓迎式、翡翠を県の石にする会解散総会、富山第一銀行糸魚川支店新和会納涼会、ヒスイデザイン画審査会 ほか

◎新入会員の承認、会員異動について  
 ◎拡大水曜会について  
 ◎県産業振興要望について  
 ◎糸魚川信用組合との事業連携協定書について  
 ◎県合同要望について ほか

8月1日  
 ◎日程調整  
 糸魚川信用組合との事業連携協定締結式、能生ふるさと海上花火大会、日本商工会議所通常会員総会 ほか

◎新潟県産業振興施策に対する要望について  
 ◎関西糸魚川会創設40周年記念誌について  
 ◎JR要望について  
 ◎景況調査及びインボイス調査について  
 ◎交通量調査結果について ほか

## 事務局日誌 2023年7月

- 3日(月) 糸魚川地域総合海開き安全祈願祭
  - 4日(火) PF 企業とまちの魅力発信委員会ミーティング、県連運営委員会、塩の道広域観光連携担当者会議、インボイス個別相談会
  - 5日(水) PF 緑でつなぐ未来創造会議・糸魚川市事業協定式、正副会頭会議、経団連正副会長会議、糸魚川創成塾⑤、食品製造業部会
  - 6日(木) 採用力強化セミナー(オンライン)、デジタル地域通貨連携協定締結式
  - 7日(金) 専門相談窓口(知財)、PF令和5年度事業報告会
  - 10日(月) 指導員研修(一般コース)、第49回塩の道経済懇談会、要望活動(上越市)、中小企業支援連携ミーティング
  - 11日(火) 経営指導員研修会(オンライン)、PF 運営委員会、経営基礎力養成講座、糸魚川市自衛隊協定会定時総会
  - 12日(水) 要望活動(新潟県)、日商ブロック別検定担当者懇談会、糸魚川創成塾⑥
  - 13日(木) 糸魚川市人権教育・啓発推進委員会
  - 14日(金) 糸魚川市防災会議
  - 18日(火) 正副会頭会議、塩の道経済懇談会広域観光連携担当者会議、PF 緑でつなぐ未来創造会議、おまんた祭り実行委員会企画運営部会
  - 19日(水) PF 緑でつなぐ未来創造会議事業者向け説明会、専門相談(IT、金融、法律、労務)
  - 20日(木) PF 企業とまちの魅力発信委員会ミーティング、おまんた祭り本部スタッフ会議
  - 23日(日) いがたヒスイシンポジウム
  - 24日(月) PF 美山PJ定例ミーティング、塩の道広域観光連携担当者会議
  - 25日(火) ヒスイレディ認証式、PF 生産性向上×知の共有合同委員会、採用力強化セミナー、インボイス個別相談会
  - 26日(水) 外国人材雇用セミナー、姫川港開港50周年記念事業実行委員会幹事会、Uターン促進事業現地打合せ
  - 27日(木) 製造業DXセミナー、Uターン促進事業会議
  - 28日(金) 労働保険事務組合担当者研修会、糸魚川地区労働保険地区協議会通常総会
  - 29日(土) 第47回糸魚川おまんた祭り
- ※PF: 糸魚川産業創造プラットフォーム

9月の予定

- 専門相談窓口 毎週第3水曜日 9月20日(水)
- 夜間経営相談室 毎週月～金曜日 ※要予約
- 正副会頭会議 9月19日(火)

LINE 公式アカウント

友だち登録をお願いします

糸魚川商工会議所HP

## 新型コロナ対応ゼロゼロ融資 返済見直しを考える方へ

～ 伴走支援型特別保証制度のご紹介～

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で経営環境が厳しい状況となり、3年間無利息の特別貸付制度を多くの事業所が利用しました。元本返済の措置期間が終了し、返済が始まる事業所が、ピークを迎えました。経営の立て直しが思ったように進まず、返済に悩まれている事業所もあり、それに対し新潟県信用保証協会では『伴走支援型特別保証制度』を実施しています。国はゼロゼロ融資返済に伴う倒産を回避するために様々な制度を実施していますが、その一つの制度であり、活用検討を推進しています。

同制度は、取引金融機関と共にこれから先の経営の道しるべとなる「経営行動計画書」を作成し、加えて一定の要件を満たすことで、返済猶予期間や返済額の軽減、更に新たな設備投資や事業拡大への資金を調達することができる制度です。信用保証料の補助もありますので、経営改善のため、経営行動計画と返済計画の双方を検討する機会ともなります。

同制度を活用したゼロゼロ融資の返済見直しや経営再建については、取引金融機関、もしくは新潟県信用保証協会上越支店へお問い合わせください。

新潟県信用保証協会上越支店 025-523-7225

## 糸魚川信用組合 × 糸魚川商工会議所 事業連携協定を締結

糸魚川信用組合(以下、信組)並びに糸魚川商工会議所(以下、会議所)は、糸魚川市の経済の振興と発展に向けた事業連携協定を8月1日に締結しました。

締結式には高瀬会頭と副会頭全員、信組は平野理事長が出席し、調印をおこないました。糸魚川市の経済を支える中小企業を下支えするべく、お互いの強みを掛け合わせる事業連携を行っていきます。まずは、全国初の地域コンサルチーム「糸魚川ビジネスコンサルタント(通称:IBC)」を立ち上げ、企業の様々な課題を伴走して解決する支援をします(正式設立時に改めてお知らせします)。今後は事業継承や人手不足への連携した取り組みも含め、企業や地域の振興を目指した事業を展開していきます。



## 松糸道路の早期建設とJR大糸線の利用促進に向けて連携強化

～ 第49回塩の道経済懇談会開催～

7月10日、糸魚川・大町・松本・塩尻の4商工会議所による「第49回塩の道経済懇談会」が開催されました。塩の道経済懇談会は4商工会議所の持ち回りで開かれており、今回は長野県大町市を会場に開催され、総勢約90名、当所から20名が参加しました。

視察では、サントリープロダクツ(株)天然水北アルプス信濃の森工場で、天然水ができるまでの製品化の工程や製造ラインなど、解説を聞きながら見学しました。

その後、アブロードを会場に経済懇談会が行われ、要望活動等の経過報告とともに松本糸魚川連絡道路の早期建設に向けた取り組み、JR大糸線の利用促進に向けての連携強化を確認しました。

来年度は第50回の節目の懇談会となり、長野県塩尻市を会場に開催される予定です。

## 糸魚川住宅認定基準ISSHを知る

8月2日(水)ヒスイ王国館を会場に拡大水曜会を開催しました。年2回研修会として開催していますが、コロナ禍で、中止または規模縮小していたため、4年ぶりのフルスペックでの開催で46人が参加しました。

今回は、糸魚川市と事業協定の締結をおこなった「糸魚川住宅認定基準ISSH事業」について、糸魚川産業創造プラットフォーム事業の緑でつなぐ未来創造会議、猪又直登座長から説明していただきました。

「糸魚川には森林資源が豊富にあるがあまり活用されていない。」そんな課題から糸魚川の木材を活用し、高性能住宅を糸魚川市内の工務店、建設会社が建築することで、地材地建の促進、そして地域経済の循環を目指すという取り組みからできたのが、糸魚川独自の住宅基準ISSH(イッシュ)です。(ISSH=Itoigawa Sustainable Standard Houseの略)

糸魚川木材のぬくもりが感じられる住宅が楽しみに感じることができました。

糸魚川商工会議所 2023年8月25日発行

☎941-8601 新潟県糸魚川市寺町 2-8-16 ☎025-552-1225

URL: http://www.itoigawa-cci.or.jp 発行責任者/北村雄一

【お願い】会報は事業所内、各部署で閲覧をお願いします。

# 令和5年度 交通量調査

## 歩行者では中心部全地点で 前回(コロナ前)調査を改善 駅前通りはコロナ前より高水準

調査実施日時	
休日	令和5年6月4日(日) 8:00～19:00 天候/晴れ
平日	令和5年6月7日(水) 8:00～19:00 天候/晴れ
※前回調査実施日時	
休日	令和3年6月13日(日) 8:00～19:00 天候/曇り時々雨
平日	令和3年6月16日(水) 8:00～19:00 天候/曇り

市内における人流の状況を調査し、企業活動や各種施策の方針決定に活用することを目的として隔年で実施している「交通量調査」を、本年は中心商店街(通称口の字)の6つの通りと中央大通線の1つの計7地点で実施しました。

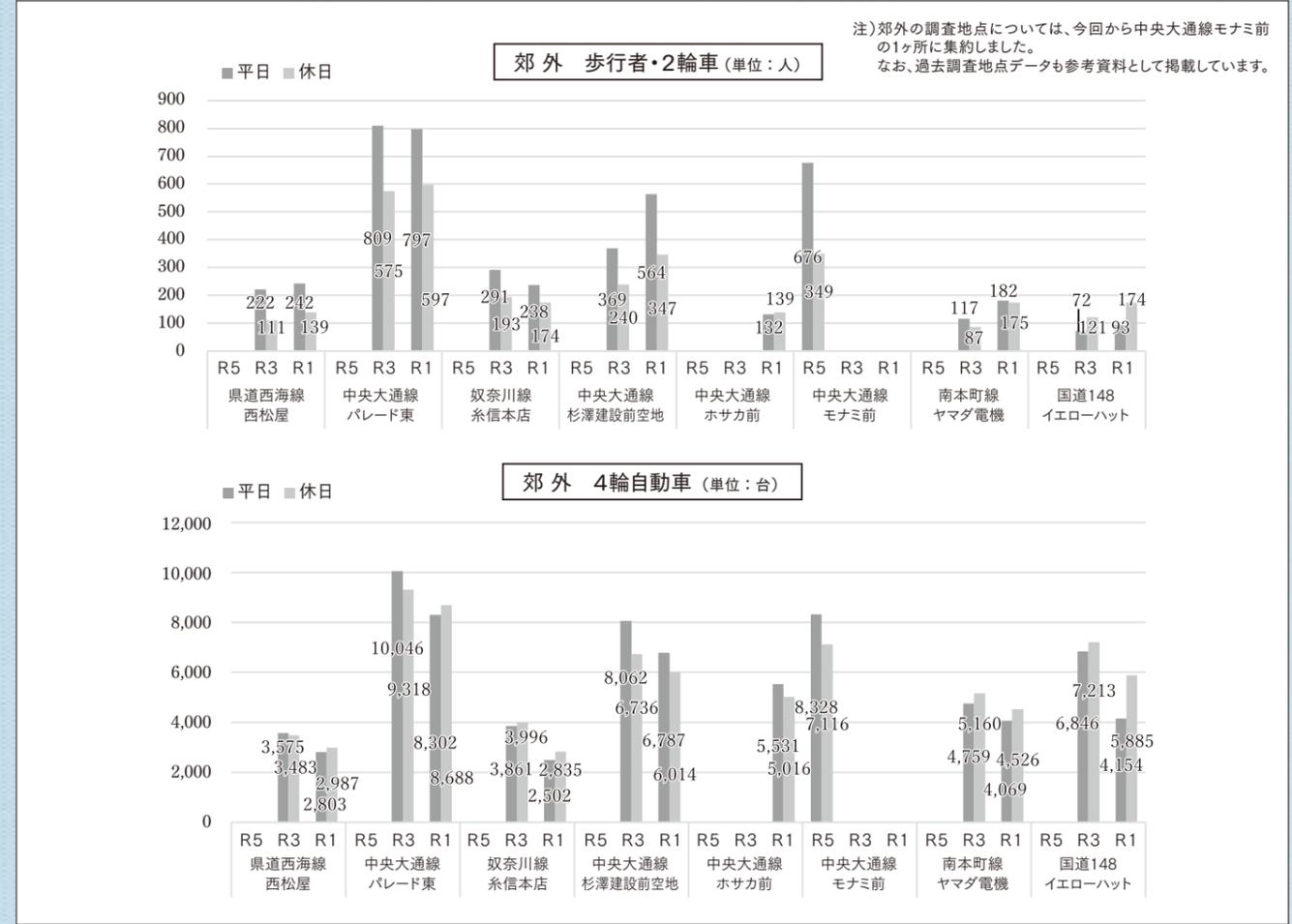
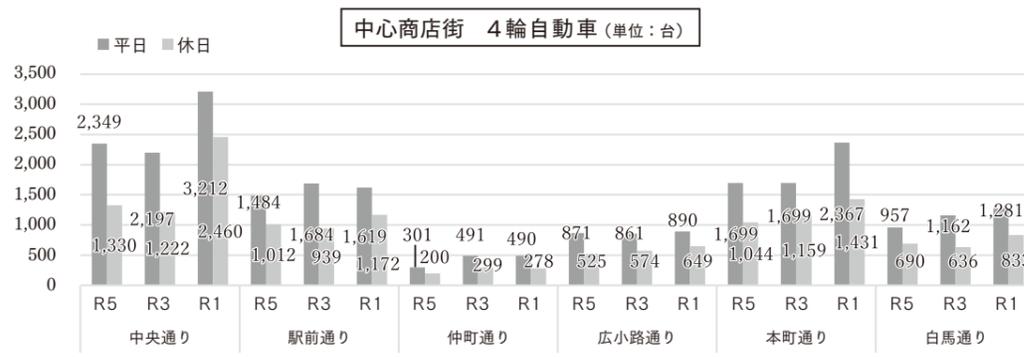
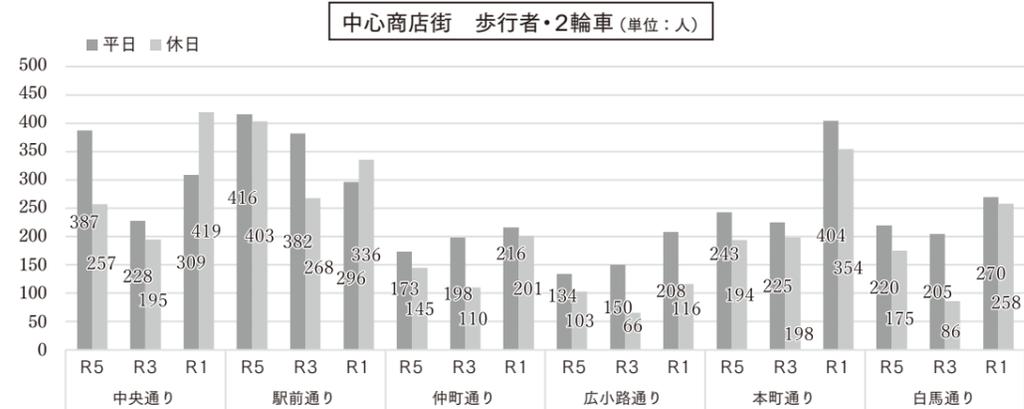
中心商店街の主要6つの通りについては、令和3年度と比較して全ての地点で歩行者(2輪車含む)が増加。4輪自動車に関しては多くの地点で通行量が微減するという結果となっています。両日天候が良かったため、4輪自動車の交通量が一定程度は歩行者等の通行量に流れたと考えられますが、それを加味しても「中央通り」「駅前通り」の歩行者(2輪車含む)が大きく伸びていることがわかります。

加えて、この2つの通りについては令和元年の調査と比較しても歩行者(2輪車含む)が増加しており、特に「駅前通り」については平日、休日ともに増加という結果です。多くの飲食店が集まる通りであり、新型コロナ

ウイルス感染症の5類へ移行した影響が現れた結果だと思われます。

次に主要道路として観測している中央大通線については、調査地点の変更や天候条件で単純比較することはできませんが、今回調査地点とした「モナミHair様前」は前回の調査地点であった「杉澤建設様前」の令和3年度の結果より、歩行者(2輪車含む)、4輪自動車共に多くなっており、人流が市役所(白嶺高校)と商店街方面につながる交差点を境に流入出しているものと考えられます。

前回比で多くの調査地点で人通りの増加という結果となりましたが、コロナ禍で打撃を受けていた状況下でエネルギー・原材料高という物価高騰の波にさらされ、経営には厳しい外部環境が続いています。多くの会員の皆様からご協力いただいている「景況調査」のアンケート結果も含めて、今後の会議所の施策に活用していきます。



注) 郊外の調査地点については、今回から中央大通線モナミ前の1ヶ所に集約しました。  
なお、過去調査地点データも参考資料として掲載しています。

**県石ヒスイを記念して  
「にいがたヒスイシンポジウム」が開催** 新潟市会場に  
200人が参加

昨年11月4日にヒスイが新潟県の石に指定されたことを記念するシンポジウムが、7月23日、新潟市の新潟日報メディアシップで開催され、高瀬会頭も主催者の一員として参加。閉会のあいさつを行いました。

記念事業は、「にいがたヒスイシンポジウム～県の石・ヒスイの魅力と価値～」をテーマに、ヒスイ県石指定記念事業実行委員会(委員長:米田徹糸魚川市長)が主催して開催されました。

サイエンスコミュニケーター、渡邊克晃さんの記念講演の後、糸魚川市フォッサマグナミュージアム、小河原学芸員、糸魚川市長者ヶ原考古館、小池学芸員がそれぞれ基調講演。3人の講師に米田市長もパネリストとして加わってパネルディスカッションが行われました。当市出身の伊藤聡子さんがコーディネーターを務め「県の石ヒスイを活かす～ヒスイの持続可能な活用～」をテーマにそれぞれの立場でさまざまな意見や提案が披露されました。

会場は、定員いっぱいの200人で埋め尽くされ、糸魚川のヒスイが「新潟県のヒスイ」として認知され、県と一体となって行う今後の持続可能な保護と活用に向けた活動に大きな期待が持たれます。

閉会あいさつをする高瀬会頭▶

**道路、空港、港湾地域の社会資本整備を要望**

**北陸地方整備局との懇談会開催**

8月8日、新潟県商工会議所連合会と北陸地方整備局幹部との懇談会が新潟市で開催されました。

この懇談会は、2年に1回、開催されているもので、県内16商工会議所の会頭が、各地域のインフラ整備の要望や地域課題を北陸地方整備局に直接伝えるもの。当所高瀬会頭からは、「姫川港の整備・拡充」と「松糸道路の建設促進」のほか「社会資本整備に係る予算確保のお願い」を行いました。予算の確保では、防衛費や子育て予算の大幅な増額が見込まれる中、社会資本整備予算についても十分な予算確保をお願いするもの。

北陸地方整備局からは、「姫川港の整備と松糸道路については、必要性を理解しているので、引き続き県と一体となって事業を進めていく。予算の確保については、我々も同じ考えをもっている。子育ても大事だが社会資本整備も大事だ、という声を政治家を通して強く要望してほしい」と回答がありました。

**第15回 糸魚川ジオパーク検定 開催情報**

日付 令和5年11月12日(日)

会場 ヒスイ王国館(初・上・達人)、能生商工会(初)、青海生涯学習センター(初)、新潟大学(初・上)、東京大学(初・上)

申込期間 令和5年9月13日(水)～10月16日(月)

※詳しくは、9月号に折り返すチラシをご覧ください。